



No. 83

鹿私幼 だより

会報

（一社）鹿児島県私立幼稚園協会

発行人／上原樹縁 編集／調査広報委員会
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番6号

（プロパンガス会館5階502号室）

TEL 099-285-6688 FAX 099-285-6689

ホームページ <https://muzoca.net>

E-Mail jimukyoku@muzoca.net

Instagram @muzoca_kagoshima

『わたしには価値がある』 ～豊かな人生よりも豊かな人間を目指す～



鹿児島県私立幼稚園協会

会長 上原樹縁

人間は誰でもいつか人生の幕を閉じます。その時に「かけがえのない人生だった」と心から言えるかどうかは、かけがえのないものを大切にすることができたかどうかにかかっています。「あなたにとってかけがえのないものはなんですか？ 人生の目的とはなんですか？」

大切なのは形ではなく、あなたが本当にそれを望んでいるという実感です。

それでは、このような質問に変えたらどうでしょうか。「あなたは価値ある人生を歩みたいですか？ 価値ある人間になりたいですか？」答えは誰でもイエスでしょう。万人共通の願望です。では、「あなたにとって価値ある人生とはなんですか？ 価値ある人間とはなんですか？」答えはあなた自身の大切な価値観にあります…。もう一度、言い換えての質問です。「あなたは人生において何を大切にしたいですか？ 誰を大切にしたいですか？」いかがですか？

つまり、「人生の目的」なんて大層なことを考えなくても、自分が大切にしたい価値観、ものを、人を大切に生きていくというのが、求めるものを得る効果的な生き方なのです。価値観を大切にすることは、あなたの人生を、自分自身を大切にすることです。

私の人生理念は『愛・真心（感謝・慎み・助け合い）・成長・貢献』です。自分の価値観を行動で完結することで、自然と周りからも力を借りられる人間になっていくと信じています。

そして、豊かな人間こそが豊かな人生を築き上げると信じて行動しています。周りの人々の

成功や幸せを心から自分の喜びとする豊かな人間の集まり（集団）が、皆さんの園の職員（職場）であってほしいと心から希望します。そのためにも、お一人おひとりが『わたしには価値がある。価値ある人生を生きている。』と実感していきましょう。そうすると、必ず自分の人生を能動的、内発的、主体的に生きていけます。自分自身の大切な価値観から行動まで一貫性を通すことで価値ある人生を送ることができます。そう信じて日々精進していきましょう。

あなたの人生理念（価値観、哲学、信条、理念）はなんですか？

令和5年度を閉じ、新たに令和6年度に突入するこの時に…。今一度立ち止まり、振り返ってみてはいかがでしょうか。そして、これからの自分の人生、生き方、心の在り方に自分自身で寄り添ってみて、気づく感性をより一層磨いてみてはいかがでしょうか。きっと、自分の価値や役割、責任といったものが明確になってくると思います。また、当たり前のように与えられ包まれた園や職場が、いかに恵まれた環境や関係性によって担保されたものであるかも明確になってくると思います。「これまで」と「今」に心から感謝し、素直な心で「これから」のより良い上質な教育・保育を目指していきましょう。



令和5年度の各種研修会を振り返って（報告）

教育研究委員長 室屋 賢三

I 令和5年度の活動を振り返って

令和5年度の協会が開催する各種研修会は、新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきたためほとんどの研修を対面で実施することができたことから、参加者からも好評の声を多く聞くことができた。

次年度も、対面方式を中心にしながらオンライン、ハイブリッド形式など、効果的な受講方法を選択し、会員の資質向上につながる各種研修会を開催していきたい。

1 新規採用教員研修会

4月3日に第1回を12月26日に第2回を両日とも対面形式で実施した。休み時間等で、同級生が元気に談笑する姿やグループ協議を熱心にする姿を見て対面での研修会の良さを改めて感じる事ができた。

2 主任等研修会

6月22日に対面とオンラインによるハイブリッド方式で実施した。3つの講話においては、県人権同和教育課、鹿児島中央警察署、共研幼稚園の先生にご協力をいただき、それぞれの立場から課題解決の方法と現状等について指導をしていただいた。どの分野の講話も興味深いお話であり、好評であった。初めて警察との連携もでき、有意義な会となった。

3 第24回乳幼児教育・保育実践講座

当初、8月に計画されていたが、台風の影響で延期となり、講師の先生方のご協力により1月15日に開催することができた。3つの講座は、マネジメント研修について鹿児島純心大学、人権教育について鹿児島県人権同和教育課、特別支援教育について鹿児島女子短期大学の先生方に講話をしていただいた。

次年度も、免許状更新講習の発展的解消に伴い、1日のみの講座開催の方向で検討している。



4 第62回鹿児島県教職員研修大会鹿児島大会

7月24日・25日に4年ぶりに会場園のご協力により保育参観と対面による問題提起園の発表、グループ協議を開催することができた。大会には、県内から1157人の先生方の参加があり、会員の力量を高める研修となった。全体講師には、東京大学の遠藤利彦先生を直接鹿児島までお招きし、全体会場と各園をZoomでつなぎ講演を拝聴することができた。アタッチメントに関する最新の情報をお聞きすることができ、有意義な研修会となった。

5 マネジメント（旧キャリアアップ）研修会
第1回を10月20日、第2回を2月1日に対面で開催した。この研修会は、中核リーダー等15時間のマネジメント研修が必須要件であることから令和元年度から実施している研修である。今年度は、新しく「幼稚園における道徳教育」の講座を設けた。今後も随時、内容等を見直し、より有意義な研修会を実施していきたい。次年度も2回実施の予定である。

6 保育教諭等研修会

保育教諭等研修会を11月7日の4つの講座を県の受託事業として対面形式で開催した。例年2日間にわたって実施していたが、今年度は、参加者の負担を減らすために1日間の開催とした。講師には今回は、初めて今給黎総合病院の先生をお招きして「アレルギーと感染症」の講話をしていただいた。今後も医師会との連携に努めていきたい。

7 第27回幼稚園等教育改善研究会

この3年間、コロナ禍のために1日開催とし、情報交換会も実施できていない状況であったが、今回4年ぶりに2日間の研修が実施できると同時に1日目研修終了後懇親会も開催することができた。

懇親会では、園長先生方とさまざまな情報交換ができ、研修会と併せて有意義な研究会となった。全体会の講師には、「アレルギーと感染対策」の演題で今給黎総合病院の先生に講演をしていただき有意義な会となった。

これまで鹿児島市と各地区とで交互に会場を変えて開催してきたが、平成30年度から会員の参加のしやすさ等を考慮して、当分の間、鹿児島市で開催することになっている。今後も鹿児島市での開催を継続していきたい。



8 特別支援教育スキルアップ研修

2月15日に対面形式で実施した。講師には、今回初めて直接保護者や児童生徒に携わっている、やまびこ医療福祉センター所長及び県立鹿児島特別支援学校の教諭に講話を依頼し、療育と教育の両面からのお話しを拝聴することができた。現場の様子を直接お聞きでき、たいへん充実した研修会となった。

今後も特別支援教育においては、多面からの見方を大切にする事から様々な領域からの講師をお願いして、より充実した研修会としていきたい。

- 9 各支部・ブロックごとの研修
各支部・ブロックでは、教育研究部員を中心に企画・運営され、講師を招聘するなどして年間計画に基づいた充実した研修が実施されている。また、今年度は、地区ブロックを越えた合同の研修会も数例見られ、新しい研修の在り方を模索することができた。

II 令和6年度に向けて

県教職員研修大会においては、令和5年度も全職員が一堂に会して講演等を聞くことはできなかったが、鹿児島市の11の会場園の協力に対面での保育参観や研究協議が実施できたことはたいへん有意義であった。

次年度、第63回教職員研修大会大隅大会は垂水市を開催地とし、全体会を垂水市文化会館で5

年ぶりに会員約1000人の教職員が対面で一堂に会することになる。併せて、分科会を大隅地区の11の幼稚園にて対面形式で開催予定である。

今後、1000人規模の会員を収容する会場を確保することが難しい地域もあることから鹿児島大会や次年度の大隅大会の運営が今後の各地区での大会の在り方のベースになってくると思われる。大隅地区と連携をとりながら準備を進めていきたい。

また、次年度も対面形式を中心とした研修会を実施していくが、利便性や感染症の状況等に応じて対面、オンライン、ハイブリッド形式を総合的に勘案しながら実施していく予定であるので、各園のご理解とご支援をお願いしたい。

政策振興委員会

活動報告及び今後の課題

政策振興委員長 若松 忠洋

1 R5 県知事要望

- (1) 私立幼稚園の「経常費補助金」及び各種補助金について

私立幼稚園の「経常費補助金」について、これまでも鹿児島県においては、国の予算措置相応の財源措置を講じていただいておりますが、今後も文部科学省の計上する予算に準じて、相応の財源措置をお願いしました。また、同様に各種補助金制度についても、これを堅持するとともに令和6年度の補助の増額をお願いしました。

- (2) 幼児教育センターの設置について

この事業は、幼児期の教育の重要性を認識し、地域の幼児教育の拠点となるものを設置して幼児教育・保育の質の向上に大きく貢献することを目的とするものです。私立幼稚園・認定こども園等におきましては、平成30年度から新しい「幼稚園教育要領」や「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が施行されたこと、また、令和元年10月より保育料の無償化が実施され、幼児教育の質の向上がますます求められることもあり「幼児教育センター・幼児教育アドバイザー」の設置を強く要望しました。なお九州地区では鹿児島県を除くすべての県でR5年度までに設置済みもしくは設置予定となっています。

- (3) 少子化対策としての保護者負担軽減の更なる推進

「子ども・子育て支援新制度」は8年目を迎え、全国的に待機児童ゼロの実現に向けた取り組みが続いてきました。県内におきましても幼児期の教育や保育、地域の様々な子育て支援の量の確保、質の向上を進めるための政策を講じられてきました。しかしながら三歳未満児の保育料においては完全無償化されておらず保護者の負担軽減が実現していません。鹿児島県や各市町村におかれましても、少子化対策として早急に実施している地域もある中、「三歳未満児の保育料の無償化」に向けて政策をとっていただくよう要望しました。

- (4) 人口減少地域幼稚園・保育所等の振興対策について

急速な少子高齢化において、これからも想定をはるかに上回る少子化が進んでいくことが考えられます。2025年問題を境に、園児数の減少が進み、園運営のみならず、地域における子ども同士の関わりや保護者同士のつながりの希薄化に拍車がかかり、子育て環境に危機感を抱きます。急速に過疎化が進んでいる地域における幼稚園、保育所等へ柔軟な制度の運用、園の運営維持のための県単独補助の創設をお願いしました。

- (5) 令和6年度私学助成園における処遇改善事業について

幼稚園（子ども・子育て支援新制度の施設型給付を受けるものを除く）を設置する学校法人における幼稚園教諭等の処遇改善（月額9,000円）のさらなる引き上げのための財政支援として私立高等学校等経常費助成費補助金を認定こども園や保育園と同水準になるよう、県において全額負担していただいていた幼稚園負担軽減を行っていただくようお願いしました。しかしながら、R6年度に関してはこれまでの通りの扱い予定。

- (6) 保育対策総合支援事業補助金

保育所等における保育士等の業務負担を軽減し、保育士等の離職防止を図ることを目的として、保育士等の補助を行う保育補助者の雇上げに必要な補助の予算化をお願いしたところ、各市町村の判断で予算化できると回答をいただいた。

2 委員会活動

- (1) 政策振興委員会実施
(2) 公明党意見交換会（国会議員、県議、市議）
(3) 自民党友好団体意見交換会（国会議員、県議、市議）
(4) 自民党県議団私学振興等教育問題調査会・幼稚園協会意見交換会
(5) 県知事への予算要望書提出
(6) 公明党新春政経懇話会
(7) 国政報告会（自民党）森山裕、（自民党）保岡宏武

3 今後の課題

- (1) 私立幼稚園「経常費補助金」の相応または増額の財源措置のお願い

- (2) 幼児教育センター設置の推進
- (3) 少子化対策としての保護者負担軽減の推進
- (4) 令和7年度私学助成園における処遇改善事業への県財政支援のお願い
- (5) 就学前教育・保育提供体制の再構築の検討

- (6) 人材不足への対応、制度の枠組み構築の推進
- (7) 幼稚園教諭・保育教諭の更なる処遇改善の充実を図る

経営研究委員会

活動報告

経営研究委員長 武 祥三

令和4年度から始まった2カ年の2年目、令和5年度に計画した主な活動は以下の通りです。

- ① 令和4年度財務状況調査及び分析
- ② ライカ南国ホールでの合同就職説明会開催
- ③ 第39回全日本幼稚園連合会九州地区会 設置者・園長研修大会 福岡大会ならびに九州地区次世代交流会開催
- ④ 全国（山形県）設置者・園長研修大会への参加
- ⑤ 九州地区合同就職説明会（福岡市）への参加（参加できず）
- ⑥ 私立幼稚園4団体教育交流会（北海道8月開催）に参加
- ⑦ 県私立幼稚園協会設置者・園長研究協議会（9月 城山ホテル鹿児島）
- ⑧ 養成校連絡会（12月 交流会は4年ぶり開催）
- ⑨ プロジェクトKの活動支援（1月愛知県私立幼稚園連盟との交流会）

令和5年7月1日（土）にライカ南国ホールでは2回目となる対面式合同就職説明会「かごしまの幼稚園就活応援フェア」を開催しました。34の園・法人に参加いただき、1回目昨年度の反省から、ブース配置や前後半での場所入れ替えを行い、いくらかの改善を図ることが出来ました。また参加園とは別に、養成校6校にブースを提供して参加いただきました。来場者の増加や広報活動にはまだまだ課題も多いところですが、養成校へ

の進学者のプラスがそのまま幼保教諭の増加にもつながることを、我々幼稚園側と養成校の側でより強く意識してつながりをさらに強化していきたいと思います。現在、令和6年度の開催に向けてはすでに動き始めているところです。ご参加よろしくお願ひします。

9月には、県設置者・園長研究協議会を開催しました。コロナ禍が明けた今年度、懇親会まで行えたことは、久しぶりに県内の多くの先生方と語り合える場ができ、大変充実した内容になったのではないかと思います。

令和4年度の4県交流会（岐阜県）の際に、プロジェクトKの先生方が独自企画し実施した愛知県での視察研修をご縁として、令和6年1月には愛知県の先生方が来鹿され、2日にわたる園視察に交流会と、若手の先生の活躍に「鹿児島の次世代の力ここにあり」を実感できる活動もできました。今後も県内に限らず、他県への積極的な見学・交流会も展開して、多くの園長先生方、特に後継者の先生方に交流と学び、多くの仲間を作る場の提供ができる委員会活動に出来ればと願っています。

経営研究委員会・部会としましては、今の幼稚園の課題に即し且つこれからの園運営を見越した研修や催しのさらなる展開ができるよう活動して参りたいと思います。今後とも応援よろしくお願ひいたします。

調査広報委員会

活動報告

調査広報委員長 田原 慎也

本年度より県協会Instagramを立ち上げ、紙媒体（ようちえんって楽しい・鹿私幼だより）・ホームページ（むぞかネット）・SNS（Instagram）の3つの媒体で広報活動を実施してきました。それぞれのメディアの良さを活かしながら今後も幅広く幼児教育や幼稚園・認定こども園の魅力が伝わっていくように取り組んでいきたいと思ひます。

本年度、本委員会で実施した主な活動は以下の通りです。

- 1. 「ようちえんって楽しい」No.34の発行
- 2. 「鹿私幼だより」No.83の発行
- 3. むぞかネットの定期更新（コラム・絵本紹介）やイベント案内
- 4. むぞかネットへ教職員研修大会の研究集録の掲載
- 5. Instagramの立ち上げ・運用
- 6. 就活応援フェア（合同就職説明会）の運営

サポート

- 7. むぞかネットに園紹介動画ページの追加
- 8. 文部科学省作成のパンフレット「一人一人のよさを未来へつなぐ」希望園への斡旋
- 9. 幼稚園ナビの登録推進

昨年度にリニューアルしたむぞかネットへさらにコンテンツ（教職員研修大会の研究集録掲載や園紹介動画ページ）を追加し、幼稚園・認定こども園の役割や各園のことをよく詳しく知って頂けるよう取り組んでまいりました。

Instagramも十分な頻度での更新ができていないのですが、少しずつフォロワーも増えており、就職先選び、園選び、幼稚園を知ってもらえる機会など、いろんな世代の方に見てもらえるようなコンテンツ作りを皆様からのご意見頂きながらこれからも進めて参りたいと思ひます。

次年度も様々な発信をしていきたいと思ひます。今後ともご協力お願ひ致します。

鹿児島県知事表彰 鹿児島県私立学校教育功労者表彰を受けて



上原 樹縁
肝属郡肝付町
学校法人上原学園
おおぞらこども園
理事長

このたび、教育功労者表彰をいただき、誠にありがとうございます。
思えば、昭和63年度(35年前)に大空幼稚園(当時)に助教諭という立場で入職し、現場の先生方とともに幼児教育に携わり、身をもって“保育”を体感して参りました。翌64年度からは副園長に就任し、理事長・園長(父・上原義孝)の片腕として園経営の充実発展に積極的に尽力、平成5年度からは園長、平成15年度には理事長に就任致しました。基本理念である“ともに育ちあう It's a Passion! 燃える情熱を子どもたちの夢に!”のもと、子どもたちの「今の幸せ」そして「未来の幸せ」のために、全職員とともに“子どもの心の動きに寄り添った勇気づけの保育の実践”に力を注いで参りました。
今日に至るまで、大隅支部や県私立幼稚園協会のもとで多くの学びを得させていただきました。これまでご指導くださいましたご縁ある理事長先生や園長先生、先輩・同僚・後輩の先生、保護者、園児、そして両親や家族、すべての皆様にご心より感謝申し上げます。
私の人生理念は『愛・真心(感謝・傾み・助け合い)・成長・貢献』です。周りの人々の成功や幸せを心から自分の喜びとする豊かな人間になれるよう、より一層精進して参る所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

一般財団法人日本私立幼稚園幼児教育研究機構 優秀教員表彰を受けて



三月田 智子
鹿児島市
学校法人鹿児島電谷学園
幼稚園型認定こども園
和光幼稚園
主幹教諭

このたび、一般財団法人日本私立幼稚園幼児教育研究機構優秀教員表彰をいただき、誠にありがとうございます。
幼稚園教諭となり、これまで多くの子どもたちや保護者、職員の皆様との出会いがありました。今回の受賞は、鹿児島県・市私立幼稚園協会の皆様をはじめ、これまで支えてくださった多くの園長先生や先輩の先生方、同僚そして子どもたちと保護者の皆様のおかげと心から感謝しております。
今年はいよいよ制限のある生活から解放され、以前のような日常が戻りつつあります。コロナ禍では、感染拡大を防ぐために各種活動の中止・縮小が余儀なくされ無力感を味わうこともありました。しかし、その生活が全てマイナスであったわけではなく、これまでの事を見直す良い機会でもあったように感じます。変わりゆく社会情勢やそれに伴う子どもを取り巻く環境の変化を感じる中で、子どもの育ちのために本当に必要なことは何か、職員が働きやすく長く勤めたいと思える環境はどうしたら作る事ができるのかを改めて考える機会にもなりました。これからも、この2つの視点を大切にしながら、『子どもが通いたい幼稚園』『保護者が通わせたい幼稚園』『自分たちも楽しく働ける幼稚園』を目指し、幼稚園で出会う皆様のご縁を大切にしながら、より一層精進してまいりたいと思います。本当にありがとうございました。

鹿児島県私立幼稚園協会功績表彰(教育功績)を受けて



川迫 美由紀
鹿児島市
学校法人共研舎学園
幼稚園型認定こども園
共研幼稚園
教務主幹

このたび、鹿児島県私立幼稚園協会功績表彰をいただき、心から感謝申し上げます。このような栄誉は自分には縁のないものと思っておりましたので、驚いております。今回の受賞は鹿児島県・市私立幼稚園協会の皆様をはじめ、これまで多くのご指導をくださった園長先生や先輩の先生方、支えてくれた同僚、そして保護者の皆様のおかげと心より感謝しております。
私は令和二年度から三年間、系主任等会の三役という貴重な経験をさせていただきました。ここ数年は新型コロナウイルス感染症拡大の中、研修の在り方も対面からオンラインやハイブリッド開催へと様変わりしました。その中で、先生方と共に資質向上するために、三役として工夫改善する大切さを学びました。また、園では主幹として子どもたちがのびのびと遊び、楽しく過ごせる環境作りの上で、自分の役割とは何かを葛藤しながら過ごす日々でした。少しずつ制限も緩和され、以前のように対面での研修会で他園の先生方と学びを深めたり、園では子どもたちが無邪気に笑い合う姿や、子どもたち同士で協力し合ったり、目標に向かって努力したりする姿に大きな喜びと感動を感じる毎日です。改めて、幼児教育に籍を置けることに感謝しています。
今後も、人格形成の基礎を培う幼児期に携わることへの自覚と責任をもちながら、“こどもがまんなか”の理念のもと、自己研鑽に努めて参りたいと思います。
このたびは誠にありがとうございました。



畑野 裕太郎
枕崎市
学校法人長野学園
長野幼稚園
主任

このたび、鹿児島県私立幼稚園協会功績表彰をいただき、誠にありがとうございます。
このたびの受賞の機会をいただけましたのは、鹿児島県私立幼稚園協会の皆様をはじめ、理事長先生、園長先生、先輩の先生方、周りで支えて下さる皆様のおかげと心から感謝しております。
右も左も分からないまま、幼稚園の職に就いて、不安でしかたなかったあの頃の自分では想像もつかない程、素敵な日々を過ごしてきたと振り返る機会になりました。
初めて受け持った園児達が、もうすぐ高校生になると考えると長い月日を感じますが、あの頃の思い出は、この前のように思い出すことができます。そして、卒園した園児達が「先生に会いに来たよ。」と母園に来てくれたときには、幼稚園の先生を続けていて良かった。この職を選んで良かった。また、頑張ろう。とやりにがいに繋がる体験もさせていただきました。また、保護者の皆様との出会いも素敵で、今現在も連絡を取り合い助けて頂いたり、お力添えを頂いたり、沢山の学びを頂く機会となっています。
今も主任をしながら担任も続けていて、大変な思いをすることもありますが。少子化の影響も毎年、より感じるようになっていきます。しかし、楽しい幼稚園作りと子ども第一で考える姿勢は変わらず、子ども達と過ごせる日々、今しかない成長の瞬間を子どもと共に共有できる喜びを忘れず、より一層邁進していきたいと思っております。誠にありがとうございました。

鹿 児 島 市 支 部

鹿児島市支部では、総務・政策・経営研究・教育研究・広報の5常置委員会を設け、それぞれの委員会が年間計画を立て実践したが、令和5年度はコロナウイルスも5類となり、対面での活動が出来るようになり日常を取り戻したような活動ができました。

1 重点課題

- (1) 子ども未来局との連携強化と各補助金の増額要望
・市内全域の子育て環境の充実 ・保育者の確保 ・乳幼児教育・保育の質確保
- (2) 加盟園全園の一致協力した協会事業の取り組みとPTA・振興議員との連携
- (3) 保育者の資質向上と教育・保育の質向上を目指すため各種研修会への参加促進
- (4) 自己評価及び学校関係者評価の実施と公表の充実
- (5) 幼稚園・認定こども園の学びを社会に認知してもらうための企画充実
・「リビングかごしま新聞」との連携
・ホームページのリニューアル
- (6) 円滑な接続を目指した幼保小連携の充実。小学校との接続の充実
- (7) 個々に応じた発達支援の在り方と個別の指導計画・支援計画の作成
- (8) 乳幼児の健やかな育ちのために、保健・衛生・食育の充実
- (9) 安心・安全で楽しい幼稚園の環境づくりへの取り組み強化

2 総務委員会

- (1) 「ホームページだより」の充実を図り、情報の共有化を図りました。
- (2) 処遇改善Ⅱ研修履歴確保に向けての情報提供をしました。
- (3) 「私立幼稚園・認定こども園ガイドブック」の作成と、公共機関や大学等に配布しました。

3 政策委員会

- (1) 市当局への助成等の要望（市長・局長・議長・振興議員）と子ども未来局との連携
- (2) 加盟園全園の一致協力した活動の取り組みとPTA・振興議員との連携
・振興議員との懇話会は、10月25日（木）※協会の取り組みについて協力をお願いした。
・PTAとの懇談会は、2月14日（水）「絵本に親しむ発表会」終了後実施しました。

4 経営研究委員会

- (1) 理事長・園長研修会にて、働き方改革に関する研修を企画した。
 - ① 6月28日（水）「働きがいのある幼稚園」千々岩弘一教授（鹿児島国際大学）
 - ② 8月28日（火）「働きがいのある職場づくり」福留進一氏（株式会社 現場サポート）
 - ③ 12月22日（金）「働きやすい・働きがいのある組織づくりのために」向江隆行氏
- (2) 若手リーダー研修会
① 11月2日（木）「保育の質向上」丸田愛子氏（鹿児島国際大学准教授）
※(1)(2)いずれも対面での実施で、効果の期待できるものでした。

5 教育研究委員会

- (1) 教師の資質向上と指導力向上のための研修の充実
- (2) 研修会の参加促進を図りました。

(3) 「絵本に親しむ活動発表会」を2月14日（水）4年ぶりに実施しました。

(4) 主幹・主任教諭の資質向上のため主任等研修会5回）を図りました。

6 広報委員会

- (1) 「かごしま市私立幼稚園・認定こども園だより」を発行しました。
- (2) 新入園児募集の広報活動をしました。
- (3) ホームページを全面リニューアルし、充実した情報提供が出来るようにしました。
(支部長 富永 宏)

南 薩 支 部

南薩支部は、枕崎市2園、指宿市6園、南さつま市2園、南九州市2園の計12園が加盟しています。

今年度の南薩支部の活動としては、コロナ禍も終わり様々な活動が再開された一年でした。まず6月に第一回園長主任会を開催し研修活動計画や夏季研修会について協議しました。8月にキャリアアップ研修、11月に第二回の園長主任会を開催しました。内容は幼稚園教員研修大会の振り返りや冬季研修会について協議しました。また11月には第45回鹿児島私立幼稚園PTA連合会in南薩を無事開催することができました。PTAの役員の皆様方の頑張りは素晴らしいものがあったと思います。12月にはZOOMを学ぶ研修会を開催し、ZOOMに対する見識を深めました。2月17日に冬季研修会、3月に第三回園長主任会を開催予定です。

今後も、南薩12園の連携を深めながら支部活動を盛り上げてまいります。

(支部長 池水 大地)



西 薩 支 部

西薩支部では今年度、6月1日に西薩支部総会・PTA総会を4年ぶりに対面での総会を開催致しました。

8月25日にはオンラインにて令和5年度鹿児島県私立幼稚園協会 西薩支部夏季教職員研修会を開催致しました。講義の内容としてお二人の講師による研修会でしたが、最初に鹿児島市ソーシャルワーカー社会福祉士の滝沢直子先生に「これからの特別支援教育に求められている視点」を講演して頂きました。

その中で国の制度、発達障害について、トラウマや愛着の課題を抱えた子どもたちへの対応、保護者への支援など分かりやすく説明して下さいました。

次に鹿児島県北部児童相談所所長の川村雅彦先生より「児童虐待防止に向けた多機関連携」をテーマに児童相談所の仕組みや役割、虐待による子どもへの影響、早期発見と通告についての対応、不適切保育について講演して頂きました。

更には11月と2月にオンラインでの西薩支部給食担当者情報交換会を開催し、その他にも園長会、主任会・教育研究委員会を開催しました。

今年度はコロナが5類に移行したこともあり対面での会が増えてきました。

ただ、西薩支部は出水郡長島町から日置市と広範囲に及ぶため各園の負担軽減等に繋がっているメリットもあり、対面・オンライン・ハイブリットを活用しながら西薩支部の充実した活動を目指していきたいと思えます。

(支部長 笠置 孝淳)

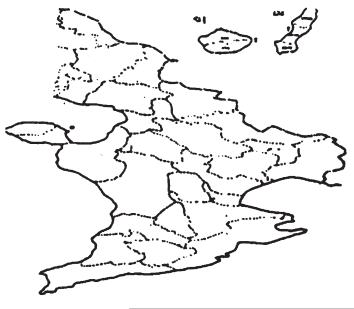
大 隅 支 部

大隅支部では、3月22日の支部総会で今年度の活動をはじめました。「大隅地区私立幼稚園教師研修大会」を5月27日、鹿屋市中央公民館で開催。今年も対面で行うことができ感謝でした。昨年に引き続き丸田愛子先生（鹿児島国際大学准教授）を講師としてお迎えして、「子どものやさしさや思いやりの育ちを考える」と題して講演をいただき、後半の分科会では、問題提起園である第一鹿屋幼稚園の先生方が研究されたレポートを中心に学びを深めました。同園は問題提起者の菖蒲ゆかり先生を中心に、7月の県大会第1分科会での発表に臨まれました。また「主任研修会」は隔月奇数月、年6回開催。対面で様々なテーマに

基づき学びと情報交換を重ねました。令和6年度は県の教研大会が大隅で開催されます。今年度の鹿児島市に倣い、一日目に公開保育と午後からの分科会、二日目は垂水市文化会館で全体会を計画しています。支部20園で支え合いながら、先生方にとって良い学びの機会を提供できるよう努めたく願っております。少し遠い地域にはなりますが、一人でも多くの先生方に来ていただくと大変幸いです。

(支部長 吉井 健)

だより



いに存じます。

始 良 ・ 伊 佐 支 部

新型コロナ5類移行にともない、令和5年度は取り巻く環境に少しずつ明るい兆しがみられました。各園においてはコロナ禍の間に園の取り組みや保育計画を見直す機会になったことを前向きに取り組めた1年だったように感じます。半面、人材不足からくる職員配置の問題や、これからの人口減少化社会における継続的な園運営の問題や課題など先行きの見えない状況をどう取り組んでいくかが大切になると思えます。県協会・支部が団結して情報を適切に取り入れ行動していくことが重要になると感じます。

■令和5年度活動

① 資質向上研修会Ⅰ・資質向上研修会Ⅱの実施 (Zoomにて実施)

始良伊佐地区教職員の資質向上と指導力向上の為資質向上研修会を研修ハンドブック俯瞰図に沿って毎年実施。

- ・第1回資質向上研修会 (2/3 午前開催)

講演 「大人も子どもも輝くほめ育」

講師 八田 哲夫 氏

幼児活動研究会(株)／日本経営教育研究所所長

- ・第2回資質向上研修会 (2/3 午後開催)

講演 「健康被害とメディアの危険な関係 行動嗜好について」

講師 戸高 成人 氏

ネットポリス鹿児島代表

② 始良伊佐地区教職員研修会 (11/25 開催)

会場 第一幼児教育短期大学アゼリアホール

講演 「子どもの健康と安全 (リスクマネジメント・防災訓練の企画・防災計画の立案等)」

講師 大窪 智美 氏

第一幼児教育短期大学准教授

③ 始良伊佐地区私立幼稚園協会設置者園長会・主任会を実施

④ 合同就職説明会参加

県私立幼稚園協会主催の合同就職説明会に希望園が参加。人材確保は依然として厳しい状況であるが、今後に向けて支部でも検討していきたい。

⑤ 人材確保への対応及び園運営

近年の学生就職状況を確認。県外就職や小規模・企業主導型の園へ希望する学生もいる中、人材確保については、依然として解消出来ない課題となっている。職員配置の状況によっては、園児の受入の制限や利用定員を減らすことで対処する状況もある。

⑥ 感染症等への対応

コロナ・インフルエンザ・様々な感染症への感染防止・予防対策に始良伊佐支部各園において取り組んできた。

⑦ その他の活動

始良伊佐地区PTA 連合大会開催及びPTA 理事会 (年4回)

国会議員時局講演会参加

霧島市私立幼稚園協会・保育園合同会議の開催 (市長・市議出席)

(支部長 若松 忠洋)

熊 毛 ・ 大 島 支 部

離島、種子島6園・屋久島3園・徳之島2園からなる熊毛・大島支部では、全園を会して、お互いに交流をもつことができないのが現状です。

しかしながら、それぞれが持つ自然や風土を活かしながらそれぞれに特色のある教育活動を実践しています。種子島・屋久島の熊毛地区では、例年6月と年明けの1・2月の年2回、幼稚園を持ち回りに3、40名ほどの職員が両島を行き来して研修を行っています。

今年度は、6月に予定していた研修も離島あるあるの「台風」の影響で急遽オンライン研修となりましたが、県教育研究委員会で決定されたテーマに従って研修会を実施することができました。第2回目の研修は2月17日に開催でき1年ぶりの対面での実施となりました。交通事情から、1日をフルに研修に活かすのは困難ですが、2年に1回、種子島・屋久島交互で1泊2日の研修も実施しています。他園の工夫や情報もしっかり学びあうことができていると思っています。

離島の我が支部においては、他の支部以上に少子化は激しく、このような現状において益々、保育資質を大切に、離島の魅力を活かしながら、幼児教育の実践に取り組んで行こうと思えます。

(支部長 岩川 臣之介)

令和6年度の主な行事（予定） = 2024 =

行 事 名	期 日	場 所	行 事 名	期 日	場 所
第1回 若手教員スキルアップ研修会 (旧：新規採用教員研修会)	4/3(水)	かごしま国際 交流センター	第15回幼児教育実践学会	8/23(金) 8/24(土)	東京都・大妻女子大学 千代田キャンパス
県私幼協会・県PTA連合会 監事監査	4月予定	協会事務局	設置者・園長研修大会 (県私幼)	8/27(火)	センテラス 天文館
(一社) 県私幼協会理事会	4/17(水)	未 定	私立幼稚園4団体教育交流会	9/12(木)	名勝仙巖園ほか
県PTA連合会指導者研修会	5/8(水)	鹿児島サンロ イヤルホテル	第1回マネジメント研修会	10/22(火)	マリnpパレス かごしま
(一社) 県私幼協会総会 (一社) 県私幼退職金基金社団総会	5月予定	マリnpパレス かごしま	全日私幼設置者・園長 全国研修会	未 定	未 定
県PTA連合会総会	5・6月予定	未 定	令和6年度保育教諭等研修会	11/11(月)	マリnpパレス かごしま
県主任等研修会	6/21(金)	マリnpパレス かごしま	第46回鹿児島県私立幼稚園 PTA連合大会	11/19(火)	川商ホール
かごしまのようちえん 就活応援フェア	7/6(土)	ラ イ カ 南 国 ホール	第2回 若手教員スキルアップ研修会 (旧：新規採用教員研修会)	12/25(水)	マリnpパレス かごしま
第63回鹿児島県私立幼稚園教 職員研修大会大隅大会	7/22(月) 7/23(火)	大隅支部11幼稚園等 垂水市文化会館	第28回 幼稚園等教育改善研究会	1/16(木) 1/17(金)	未 定
土曜日講座	7/27(土)	オンライン	第2回マネジメント研修会	2/4(火)	未 定
全日私幼連九州地区会 第40回教師研修大会佐賀大会	7/30(火) 7/31(水)	佐賀市文化会館 ほ か	特別支援教育 スキルアップ研修会	未 定	未 定
第25回 乳幼児教育・保育実践講座	8/9(金)	マリnpパレス かごしま			

※上記の研修会等はあくまで予定であり、変更になる場合もございますのでご容赦ください。

令和6年度（2024年度）

第63回 鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会 大隅大会（案）

大会テーマ「一人ひとりの『こどもがまんなか』をまもる質の高い幼児教育を」（1年次）
～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～

[日 程]

第1日目 7月22日(月)【分科会：大隅支部11の幼稚園等】

9:30		10:00		11:30		11:45		12:45		15:35		15:45	
	受付	公開保育 会場園見学		開会 行事	昼食	問題提起・分科会 (中間に休息・後半に指導助言)				開会行事 連絡	解散		

第2日目 7月23日(火)【全体会：垂水市文化会館】

垂水市田神2750-1 TEL 0994-32-7551

9:00		9:30		10:00		10:45		11:00		12:30		12:45	
	受 付 入 室	特別 出演	開会式	準備	講 演				閉会式	解散 退出			